

Q: 必要な許認可に違いはありますか。

A: MT法では磁気センサを埋めるための掘削が必要であり、自然公園法の制限エリアでは許可申請が必要です。一方、ラインソースが不要のため、ラインソース設置に係る許可申請（例えば、町道を使用する場合は、道路占有許可や警察の許可、電極設置のための地権者の許可や自然公園法に伴う許可）が必要になります。SQUID-TEM法では、センサ機器を地面に置くだけで計測ができるので、計測点に関する許可申請は比較的容易です。また、計測に必要な作業エリアが狭いため、道路脇での計測も可能で、その場合には道路の占有許可申請だけで済みます。